

事業所名

放課後等デイサービス ハッピーハウス Be fine tomorrow

支援プログラム

作成日

令和6年

9月

30日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・「あそび」からルールを学び！ 「あそび」からチームワークを高め！ 「あそび」からコミュニケーションを取れるように！ あそびを通じて子供たち自身の「やりたい！」と思う気持ち を大切に、個々のプログラムを検討し、実践しています。 ・「楽しんだ」「楽しめた」という気分を味わえるように環境づくり、支援の工夫をしています。 					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・「しなければいけない」というきまりはありません。心身ともに開放できて、ストレスのない環境づくりを目指しています。 ・子供たちが将来、社会参加する際に欠かせないマナー、エチケットの大切さを知って身につけられるように支援していきます。 ・子供たちが自由に自分を表現できる場で遊び方も創意工夫して自発性を見つけ、引き出せるような場を目指しています。 ・障がいの有無に関わらず、すべての子供たちが、のびやかに育つ環境づくりを目指しています。 ・遊びを通して楽しい時間を過ごしながらコミュニケーション力を身につけ伸ばすことを大切にしています。 ・お子様一人ひとりの発達課題に合わせ継続的に発達を促すことができるように支援を行ないます。 					
営業時間		10 時	00 分	18 時	30 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・検温・手洗い・アルコール消毒を行ない、子供たちひとりひとりの健康状態を把握していきます。 ・心身ともに健康で安全な生活が過ごせるように支援していきます。 ・物（遊具 玩具など）を大事に扱う。使用した後はきれいに元の場所に片付ける。（整理整頓する） みんなが気持ちよく過ごせるような環境づくりに努めます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・トランポリンを使用して筋力・体幹を強くします。 ・スウィング（ブランコ）を使用して、“立つ” “つかまる” “またがる” などの動きや揺れ・回転に対するバランス感覚を養います。 ・バランスボールなどを活用しての姿勢保持ができるように支援します。 ・感覚過敏用のイヤーマフを配備するなどの環境を整えます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック、ジエンガ、カプラ遊びなどによる空間把握の認知形成を図ります。 ・季節の変化への興味などの感性を形成するための外出の機会を確保していきます。 ・折り紙やあやとり遊びを通して・想像力・集中力・空間認知能力・思考力をなどを高めます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉だけではなく必要に応じて 指差しや身振り、サインまた絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し表出する支援を行ないます。 ・読み書き能力の向上のための支援 障害の特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。 ・パソコンの活用も検討しています。（文字入力、ソフト活用、プログラミング初歩（ゲーム）） 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動に参加できるよう支援します。 ・集団でのあそびのルールに合わせた行動等を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、適応力を養います。 ・自己の行動や感情を理解し、コントロールできるように支援します。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の活用等を通じて、事業所での様子について家族との情報共有を進める。 ・子供の課題に対し、事業所と家族が協力して取り組むための連携を深める。 ・必要に応じて子供のの医療・福祉・生活に関わる相談、支援方法について助言・共有を行なう。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行先との調整 ・家族への情報提供や移行先での環境調整 ・子供の情報、保護者の意向等についての移行先への伝達 ・移行先との支援方針・支援内容の共有（例、得手不得手やその背景、言葉かけのタイミング、コミュニケーション手段）
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、相談支援事業所、児童相談所等との連携（情報共有） ・障害児通所支援事業所（並行利用の場合）との情報共有 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップの為の研修（資格取得講習 講演会等への参加） ・虐待防止や身体拘束に関する研修 ・防災に関する研修
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園等へのおでかけやスーパー等での買い物（お金の学習） 					